

成年後見制度の基礎

使用テキスト ①『権利擁護と成年後見実践 第2版』 ②『社会福祉士がつくる身上監護ハンドブック 第2版』 ③『改訂成年後見実務マニュアル』

実施日	課目	内容	講師	時間(分)	使用テキスト		
					①	②	③
9月10日(日)	1 成年後見制度における法制度の動向	1. ノーマライゼーション 2. 障害者権利条約について 3. 最近の動向(成年後見制度利用促進法/意思決定支援にむけた動き等)	新井誠(中央大学法学部教授)	90			
	2 成年後見に関わる機関と相談内容	成年後見に関わる相談を受ける窓口機関の特性や関係機関および他の専門職団体との連携について学ぶ	池田恵利子(日本社会福祉士会 参事)	90	○		
	3 成年後見活動における高齢者支援の対応	認知症高齢者等の実際の相談内容に基づき、成年後見制度の利用開始から後見実務に基づく支援のあり方について学ぶ	後藤 たか子(なぎさ和楽苑 地域包括支援センター 熟年相談室)	90			
	4 成年後見活動における障害者支援の対応	知的障害者等の実際の相談内容に基づき、成年後見制度の利用開始から後見実務に基づく支援のあり方を学ぶ	今宮麗子(障害者地域生活・就労支援センターちようふだぞう)	90			
10月8日(日)	5 成年後見制度における家庭裁判所の理解	家庭裁判所の後見センターの概要と各職種の役割、審判手続き及び監督について学ぶ	東京家庭裁判所後見センター	90	○		
	6 権利擁護センター「ぱあとなあ東京」における相談対応ニーズの把握と対応	権利擁護センター「ぱあとなあ東京」における成年後見制度に関する相談の実際について、事例を検討しながら理解を深める。	倉谷慶子(権利擁護センターぱあとなあ東京センター長)	90	○	○	○
	7 成年後見制度の申立支援	成年後見制度における申立支援とは何か。社会福祉士が果たすべき役割について学ぶ	"	90	○	○	○
11月4日(土)	8 財産法の基礎	成年後見人等として活動する際に必要な財産法の基礎的知識を修得する。	中村順子(弁護士)	90	○		○
	9 家族法の基礎	成年後見人等として活動する際に必要な家族法・相続法の基礎的知識を修得する。	"	90	○		○
	10 財産管理の知識	成年後見人等として必要な財産管理の基本的事項を理解し、具体的な方法を習得する。	矢頭範之(司法書士)	90	○		○
	11 身上監護の知識	成年後見人等として求められる身上監護の考え方を理解し、権限がない事項について留意点に配慮しながら具体的な対応ができる知識を修得する。	熊倉千雅(権利擁護センターぱあとなあ東京 社会福祉士)	90	○	○	○
12月10日(日)	12 後見事務の開始の対応	成年後見人等として審判が確定したのち早期に行う事務について学ぶ。	吉田悦子(権利擁護センターぱあとなあ東京 社会福祉士)	90	○	○	○
	13 後見事務の終了の対応	終了のパターンを理解し、本人死亡後の死後事務について学ぶ	権利擁護センターぱあとなあ東京 相談員	90	○	○	○
	14 意思決定支援の基本	成年後見制度の対象と考えられる人々に対する意思決定支援とは何かを学ぶ	星野美子(権利擁護センターぱあとなあ東京 認定社会福祉士)	90	○	○	
	15 成年後見支援の実際	これまでの科目の総まとめとともに、成年後見人等としての活動を理解する	"	90	○	○	○